

草笛光子 生誕九十年 記念映画

うしろ
うしろ
せえ

主催：(公財)やわた市民文化事業団 ☎ 075-971-2111/京都映画センター ☎ 075-256-1707

寿

シリーズ累計175万部
佐藤愛子の大人気エッセイが映画化

人生100年時代に贈る、前向きになれる痛快エンターテインメント!
生きづらい世の中を“一笑両断”!

INTRODUCTION

歯に衣着せぬ物言いで人気の直木賞作家・佐藤愛子。昨年100歳を迎えた彼女のベストセラー・エッセイ集『九十歳。何がめでたい』『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』を原作に、90歳を迎えた草笛光子が、エネルギッシュかつチャーミングに等身大の佐藤愛子を熱演し、映画化! 彼女を支える頑固な中年編集者・吉川真也役に唐沢寿明、愛子の娘・響子役に真矢ミキ、さらに豪華キャストとゲストが多数登場! 映画『老後の資金がありません!』で老若男女の共感と呼んだ前田哲監督がメガホンをとり、2024年No.1の笑いと共感の痛快エンターテインメントをお届けします!

STORY

断筆宣言をした90歳の作家・佐藤愛子(草笛光子)は、新聞やテレビをばうっと眺める鬱々とした日々を過ごしていた。同じ家の2階に暮らす娘・響子(真矢ミキ)や孫・桃子(藤間爽子)には、愛子の孤独な気持ちは伝わらない。同じ頃、大手出版社に勤める中年編集者・吉川真也(唐沢寿明)は、昭和気質なコミュニケーションがパワハラ、セクハラだと問題となり、謹慎処分に、妻や娘にも愛想を尽かされ、仕事にプライベートに悶々とする日々。そんなある日、吉川の所属する編集部では愛子の連載エッセイ企画が持ち上がり、吉川が愛子を口説き落として、晴れて担当編集に! このふたりの出会いが、新たな人生を切り開く——?!

日本語字幕付きで上映します

2025年 7月 12日(土)

八幡市文化センター 大ホール

＜上映時間＞

- ① 午前10時30分
- ② 午後1時30分

＜入場料＞ 前売 1000円(当日1200円) 3歳以上有料

*障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、介護者1名は100円引きです

●前売券発売中: 八幡市文化センター/八幡市立生涯学習センター/松花堂庭園・美術館
主催:(公財)やわた市民文化事業団 ☎ 075-971-2111/京都映画センター ☎ 075-256-1707